

6月  
環境月間

# CIG (緑の中の都市) 実現へ

## 一人ひとりが主役となって取り組みを



▲行政・区民・事業者が一体となって緑豊かなまちの実現を目指します

「江東区CIGビジョン」では、行政として公共施設の緑化や、街路樹整備等を行うのはもちろんですが、区民・事業者など連携しながら、緑の豊かなまちの実現を目指すことが一つの特徴となっています。

「江東区CIGビジョン」とは、都市の中の緑ではなく、「緑の中の都市」をイメージした緑化推進事業の総称です。区では平成24年に、「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」のさらなる実現を目指し、「江東区CIGビジョン」を策定し、それに基づき継続的に緑化事業を推進しています。

「江東区CIGビジョン」では、行政として公共施設の緑化や、街路樹整備等を行うのはもちろんですが、区民・事業者など連携しながら、緑の豊かなまちの実現を目指すことが一つの特徴となっています。

「江東区CIGビジョン」とは、都市の中の緑ではなく、「緑の中の都市」をイメージした緑化推進事業の総称です。区では平成24年に、「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」のさらなる実現を目指し、「江東区CIGビジョン」を策定し、それに基づき継続的に緑化事業を推進しています。

みどり率が23区で1位に

CIGの達成状況を評価する

指標の一つである緑被率(緑地面積の占める割合)は19.9%で23区中8番目、みどり率は36.4%で同一番目でした。みどり率は緑被率に河川等の水面が占める割合等を加えたもので、内部河川が縦横に走り水彩都市を掲げる本区だからその結果といえます。

もう一つの指標である、緑の実感を重視した緑視率(視野に占める草木の割合)については、平成23年度から3か年では、平成23年度から3か年では、今年度中に結果がまとまります。

### 公共緑化

公共施設の屋上や壁面の緑化、校庭芝生化等のほかに、河川護岸や道路の緑化可能な隙間に着目し、緑化を進めています。

### 民間緑化

#### 区民・事業者との協働

CIGの実現のためには、新築の建物の緑化はもとより、既存の集合住宅や企業などに緑が増えることが重要です。そのために区民まつり等における啓発活動や、ベランダでの緑化に効果がありそうな集合住宅を対象とした、ベランダ緑化モニター事業を行っています。

また、地域の緑化活動の中心となる人材育成を目指し、「ベランダガーデニング講座」(詳細は3面)の実施、新たに生垣や植樹帯または屋上や壁面、ベランダなどでの緑化の設置費用の一部助成も行っています。詳細は区ホームページをご覧ください。

### 「江東区の杜」

## フォトコンテスト 私の緑自慢

3つの部門で緑に関する写真を募集しています。皆さんに自慢したい緑いっぱいの作品をご応募ください。選ばれた写真は、「江東区の杜」として登録し、CIG普及のために活用させていただきます。

【部門】①ベランダなどの緑を対象にした「ベランダの緑」部門  
②自宅や会社の庭などを対象にした「民有地の緑」部門  
③公共の緑を対象にした「公共の緑」部門

○応募は1人各部門2点まで  
※詳細はホームページ参照  
【賞】区長賞1点、議長賞1点、入選および佳作10点以内選出  
【入】区内在住・在勤でアマチュアの方 締切 10月31日(木)  
【申】インターネット上の特設ページから応募(区ホームページから入れます)  
【問】管理課CIG推進係  
☎(3647)2079



▲皆さんの自慢の緑をお寄せください

## 地質に関する情報の閲覧開始

### 液状化被害に備えてご利用を

地盤の液状化による建物被害に備えていくためには、建築物の建て主や所有者の皆さんが、敷地の液状化の可能性について調査し、設計者などの専門家と相談しながらどのような対策を行うか検討していくことが重要です。

このたび液状化対策についての情報や、液状化の可能性を調べるための地盤調査データ等の閲覧ができるようになりましたのでご利用ください。また、液

地盤の液状化による建物被害に備えていくためには、建築物の建て主や所有者の皆さんが、敷地の液状化の可能性について調査し、設計者などの専門家と相談しながらどのような対策を行うか検討していくことが重要です。

このたび液状化対策についての情報や、液状化の可能性を調べるための地盤調査データ等の閲覧ができるようになりましたのでご利用ください。また、液